

石垣・石組み調査票

17年 10月 25日 氏名 岡山瑞穂

< 調べる場所 >

- ・お城、畦、河川沿い、民家などの石垣、石組み：石が組み、樹木がそこに生育していればどこでもよい。
- ・河原、溪谷、山腹崩壊跡地などの自然成因の石垣（樹木が生育していること）

1)基本調査			
所在地		熊本県玉名市天水町/前田案山子別荘跡地	
方位		東石垣 西に樹木がのびてる	
斜面勾配		約70度	
高さ		石垣の下端から1.3m(石垣高さ1.4m) cm	
規模 (1.4mの高さの3段石垣)		縦 cm	横 cm
空積み(石だけで組まれている)/練り積み(接合材としてセメントを使用)		空積み	練り積み
石組み背面(内部)にコンクリート構造物、土嚢等の芯材があるかないか		ある	ない
		芯材があるならなにを使用しているか	
石と石の隙間がどの程度あるか		1 cm以下	
工法名があれば記入(例:穴太積み)		切り石野面積み	
施工時期(古いものはだいたいの記録をヒアリング等で)		西暦	1900年頃
岩質(花崗岩、泥岩など、分からなければ石表面を写真で撮る)		安山岩	
石組みの安定状態		不安定/やや不安定/やや安定/安定	
補足説明1 (根系で押されているか[ハラム]水の影響等)		石垣は、根によってはらんで良い様子はない。モミジの生長とともに石と石の隙間は広がっている。過去に石垣と石垣の隙間が広がったのを危険視されて、モルタルが目地に埋め込まれているような形跡がうかがえる。石垣天端の東側に根が伸びているのが確認される。	
補足説明2 (その他石組みの特徴等)		石垣は約100年前につくられた。この地域一体は粘土質の地盤で、かつ小谷べた石という安山岩が入り混じっており、周囲にはそれらの石を使ったみかんの段々畑が広がっている。調査地は、建築のために造成して切り取った部分に石垣をうってある。	
その他		調査地は、熊本県玉名市天水町にある、文化財施設。当地の名士だった前田案山子の別荘跡地で、夏目漱石が滞在していた屋敷を修復し見学できるように整備された。平成16年10月から17年3月にかけて修復工事に伴い庭園の樹勢回復措置を行った。その際、町のほうから石垣を壊すのではないかと心配される声が出たが、通行に支障をきたす部分の剪定だけで了承してもらい、現在に至る。	

2)そこに生育する樹木を調べる	
樹種	イロハモミジ
樹高	約 300 cm
生育状態	悪い / やや悪い / <u>やや良好</u> / 良好
枝張り(樹冠)	東西3.0m 南北3.4m
石組みからの位置 (距離)	0 cm
根系の状態 (石組み内に分布する根系 細根の発達、 ひも根の太さなど)	石垣内の根の状況は確認できない。石垣の中に入り込んでいる。 石垣天端の根は、東側に地表を這うように伸びている。
植栽由来か、自然ばえか	植栽 <u>自然ばえ</u>
推定樹齢	年
その他	天水町は、有明海に面したのりの養殖とみかん栽培が盛んな町である。町の地形は元々は有明海から急斜面となっており、今では干拓地が広がっている。施設の敷地は斜面の低い位置にあり、斜面は東側へ高くなっていっている。そのため、調査対象木のモミジは、おもに西側の日照時間が長い状態である。モミジのそばにはかつて池だった跡が残されている。池の底は岩盤になっており、その岩盤をそのまま利用して池にしていたとされる。庭園の植栽はヤマモモ、マキノキ、マツ、ギンモクセイ、サツキツツジ、サルスベリ、芭蕉、などからなっている。

3)写真を撮る
全体写真、部分写真 (細かな調査項目記入の時間が無い場合は、できる限り多くの詳細な写真を撮る)